

館報 はた



スージーちゃん スイカ7くん

令和8年5月1日現在

世帯数	6,452戸
人口	14,982人
男	7,244人
女	7,738人

町会連合会長就任あいさつ
 波田地区町会連合会
 会長 塩原 宗登



波田地区の住民の皆様初めまして。私は令和8年度波田地区町会連合会長に就任いたしました。6区町会長の塩原宗登と申します。もともとこのような職責に就任するような器ではありませんが、各町会長、並びに波田地区地域づくりセンターの皆さんの支援助力をご尽力をいただきながら、微力ではありますが務めさせていただきますのでご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、波田地区町会連合会は、波田地区地域づくりセンターの職員が事務局となる、

波田まちづくり協議会の構成団体となって、4部会に分かれて活動しています。総務部会、地域連携部会、企画情報部会、循環バス部会があり、これらは加盟団体、法人、個人など約40組織で構成されています。

また皆様もご存じの福祉、保健、生活支援事業が波田地区には社会福祉協議会及び福祉ひろばで様々に展開されており、生き生きと活躍している住民の皆様がいることは心強い限りです。これらは、当然ながら波田地区住民が主体性と連帯感をもって課題・問題点を解決しながら街づくりを生かし、「波田地区住民が生き生きと輝くまち」を目指し日々活動しております。

余談になりますが、波田の山の最高峰2446メートル、鉢盛山はご存じでしょうか。私は若き頃、青年団活動をしていて波田黒川溪谷からと朝日村から登山というよりも上ったことがあります。波田からは姿が見えない山です。

特に転入された住民の皆様は山の名前すら知る余地もありませんね。これとは反対に松本方面を見ると美ヶ原高原が真正面に勇壮な姿で見えます。つまり鉢盛山は波田の奥深くにあり見えない山で、「灯台下暗し」と言えるでしょう。木曾川の源流でもある山です。松本駅から乗鞍岳方面を見ると、左側・南に鍋を逆さまにしたような針盛山の稜線が見えます。例えばあまり良くないですが、同じような状況が町会にも存在しているように思います。あくまでも個人的な見解・感想ですが、住民の名前と顔が分からない・見えないことが増え、数十年前と比べて交流や活動が少なくなり、転入された方は町会のことや近所に住む人がどんな方か知りたいと思っっているでしょう。このことは町会運営にとつて基本的な課題であり、住民が主体の自治ですので、原点に戻り再構築していかなければならぬと、役員や隣組長さんと話し合っています。

ところで波田地区は合併から15年が経ち、松本市西部地区の要所になりつつあります。一つは中部縦貫自動車道の工事(仮称)から波田に向かって脈々とあちらこちらで重機の音を立て、一步一步進んで形が見えてきました。波田インターチェンジ(仮称)まではまだ数年かかりそうですが、これらを踏まえて波田地域の現状を再確認し、何が必要かを検証し、将来の地域の目標を立てて波田の未来に向かって創造していかねばなりません。

関係者並びに団体各位様のご支援ご協力をお願い申し上げます。また、今後とも波田地区住民のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

波田地区 学校応援団 活動紹介

波田地区の子どもたちの安心安全を守るため、元・現役の民生・児童委員などを中心全員で52名が所属する「学校応援団」が活動しています。

給食交流ボランティア
 4月14日～5月1日の平日13日間、1年生の給食配膳・片付けをサポートしています。4クラスに1名ずつ入り、延べ51名が参加しました。

エプロンの着方や配膳の仕方などについて先生を補助し、できるだけ子どもたちが自分たちで行うよう支援しています。




子どもたちとの交流を通じて、日々の成長を感じることができました。

波田地区の子どもたちの安心安全を守る波田地区「学校応援団」では、会員を募集しています。無理なく、楽しく活動に参加していただける方、波田公民館までお気軽にご連絡ください。



**波田中学校長
就任あいさつ**
校長 山崎 啓




私は、この四月に波田中学校に着任いたしました校長の山崎 啓と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前任校は、同じ松本市内の鎌田小学校です。小学校から参りましたが、本年度で教員生活三十七年目を迎え、そのうち小学校勤務は七年、残りの三十年は中学校勤務となっております。私は松本生まれの松本育ちで、自宅は松本城から北東に一キロほどのところにあります。

毎朝、松本市内から波田中学校へ車を走らせておりますと、遠くに白く輝く乗鞍岳や美しい北アルプスの山々を望むことができます。沿道には広大な田畑が広がり、ところどころに色とりどりの花が咲き誇り、大変清々しい気持ちになります。このような素晴

らしい環境の中で、生徒・保護者の皆様そして地域の方々とともに教育活動に携わることができ、大変うれしく思っております。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、現在波田中学校では、さまざまな場面で地域の皆様にご協力をいただいていると伺っております。毎年十月頃に開催される波田文化祭では、吹奏楽部や合唱部の発表、美術部や特別支援学級の作品展示が行われております。また、月に三回実施されている「町キレあいさつ運動」、J A 松本ハイランド波田支所の皆様による畑の指導、二年生の保育実習や職場体験学習、一年生の企業説明会「H A T A キャリ」さらには陶芸の指導など、地域の方々に関わっていただく学びの機会が数多くあると聞いております。

今後、持続可能な学校教育活動を実現していくためには、地域の皆様のご協力が不可欠です。波田の子どもたちの健全やかな成長のために、私たちも全力で取り組んでまいります。引き続き、波田中学校の教育活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**チャレンジャーズ
in H A T A 集会**

令和8年3月20日にチャレンジャーズ in H A T A が波田体育館にて開催されました。



公民館が主催で波田スポーツ協会・N P O 法人 C F M 実行委員会が共催する行事で、各種スポーツやダンス・体操などに、遊び感覚で楽しく参加することで、保育園児から小学校低学年の子どもたちが、いろいろなスポーツに取り組みむきっかけを作ろうと、4年前から毎年春分の日に開催し、今回で4回目のフェスとなりました。

フィットネスとスポーツの5か所の体験ブースに分かれて、各ブースに指導者やクラブ員がついて一緒に25分間×3回の構成で、自分の楽しみ

たいことにいろいろとチャレンジしていました。

子どもたちだけでなく、フィットネスには高齢者の方も大勢参加していました。

フィットネスブースでは、「Z U M B A」、「カンファー&体操」、「ダンスパーティー」、スポーツブースには、「やわらかいボールで遊ぶサッカー」、「バレーボール体験とミニゲーム」、「野球・ソフトボールのブースでは、「ストラックアウト」、「ティーバットティング」、剣道のブースでは、「竹刀を使って剣道体験と経験者による模擬稽古」などが主に行われました。

今回は予想より多くの皆様に参加していただき、にぎやかなフェスになりました。今年度も開催する予定ですので、興味のある方は、ぜひ参加してみてください。



今日はカラマツについて話します。波田の

周辺にもたくさん生えています。皆さんはカラマツと言う木材を知っていますか？カラマツは日本国内の針葉樹の中で唯一落葉する樹種です。カラマツは長野県が発祥で、高地や八ヶ岳山麓に自生していました。長野県内の人工林の半分はカラマツです。日本全国ではスギ・ヒノキが70%で、花粉症は他県が大変です。カラマツはその表情に四季があります。春は一斉に芽吹き、もえぎ色になります。夏は葉の色が濃い緑になり、森の緑の色が濃くなります。秋が深まります。秋は一転して紅葉します。スギ・ヒノキなどは紅葉しません。冬になると葉がすべて落ちて枝だけとなったスッキリとした森となります。このことよって森の中に光が入り、他の広葉樹などが育つ環境ができます。このように信州の景色の一部であるカラマツが、私たちの周りにたくさん生えています。小学校から梓川沿いに多くある赤松と一緒に活用されています。私はこのカラマツのある風景が大好きです。